

# 啓発や環境教育の効果的な実施

---

(第3次計画の充実施策)

## 市民の産業廃棄物処理に対する

## 正しい理解と認識の醸成



# これまでの取組み

---

## 1 産廃施設見学会（バスツアー）

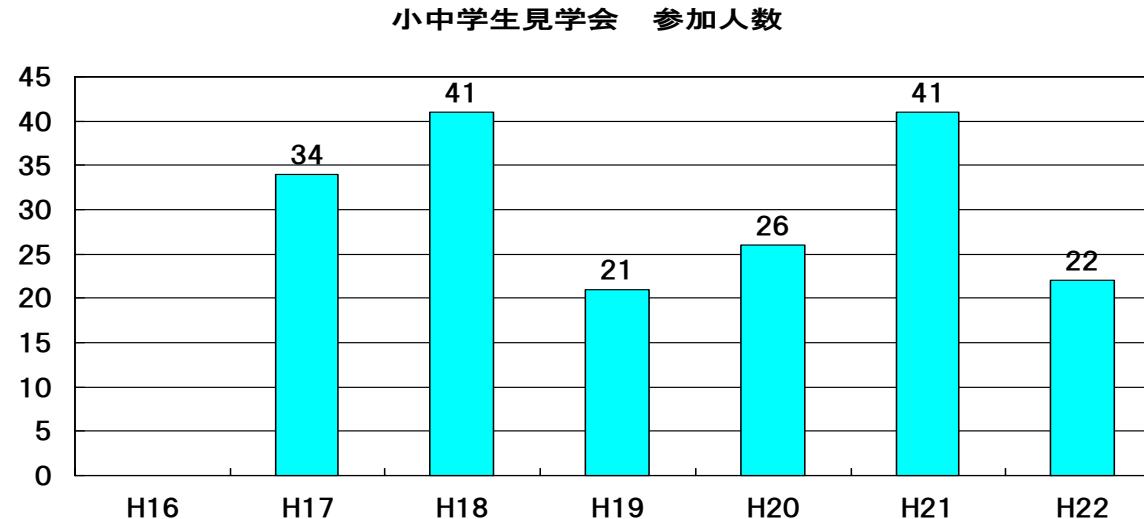
- ・ 小中学生を対象にしたもの夏休みの時期に実施（平成17年度～）
- ・ 市民を対象にしたものを行楽シーズン前後に実施（平成16年度～）

## 2 環境フォーラムきょうと（平成12年度～）

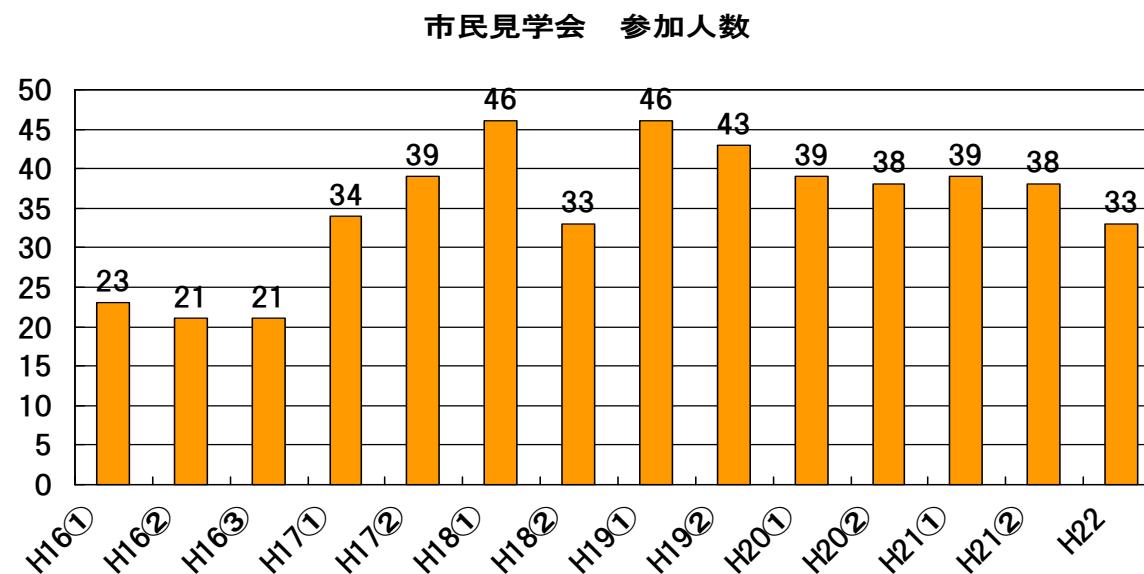
- ・ 市民を対象に、3Rに関する発表、展示等を実施

# 産廃施設見学会（バスツアー）の 参加人数の推移

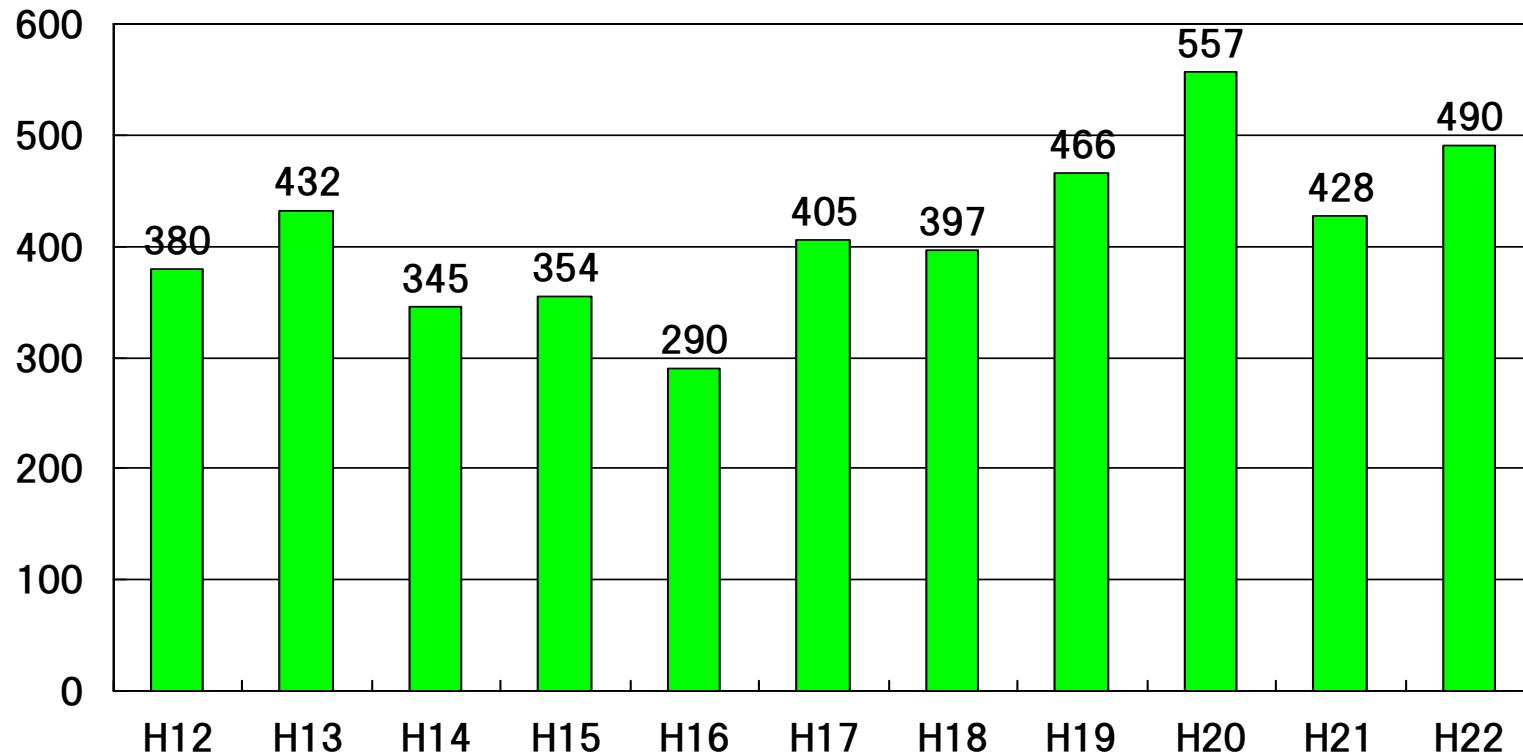
H17年から  
毎年1回実施



H16年から  
毎年1～3回  
実施



# フォーラムの参加人数の推移



## ★ 会場 ★

- H12 : アバンティホール（ホール定員：362名）
- H13～H19 : 北文化会館（ホール定員：405名）
- H20～H22 : 呉竹文化センター（ホール定員：600名）

# 見学会の様子（小中学生）

産廃リサイクル工程（RPF製造）を見学



# 見学会の様子（小中学生）

○×クイズを実施



# 見学会の様子（小中学生）

見学終了後に修了証を配布



# 見学会の様子（市民）

産廃リサイクル工程（飼料製造）を見学



# フォーラムの様子①

取組事例発表



# フォーラムの様子②

展示



# フォーラムの様子③

キャラクターショー



## フォーラムの様子④

ライブ



# 今年度の実施状況（見学会）

---

## ★ 小中学生見学会 ★

- ・8/4（イオンモールハナ～大剛, 京都有機質資源）
- ・8/11（グランドプリンスホテル京都～カンボ）

## ★ 市民見学会 ★

- ・11月上旬に2回

## ◎ 昨年度までの変更点

- 1 クリーンセンター等の京都市施設を見学する「環境施設見学会エコバスツアー」メニューに組込み  
(参考) H22エコバスツアー：64回, 1,324人
- 2 見学先に工場等の排出事業場を追加
- 3 回数を増加 (H22 計2回 ⇒ H23 計4回)

# 今年度の予定（フォーラム）

---

10月末に3日間開催される「3R推進全国大会」期間中に同じ会場で開催する。

＜日 程＞

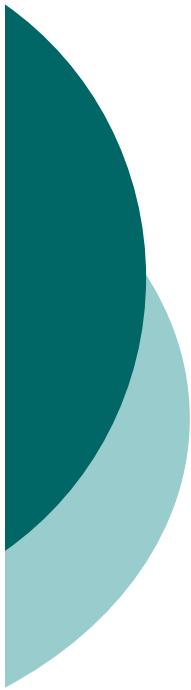
- 日 程 10/30 (日)
- 会 場 みやこめっせ 地下1階

＜内容(案)＞

産廃を分かりやすく説明したパネルの展示、リサイクル製品等の展示、破碎機等の実物展示、リサイクル品で構成された部屋の設置、産廃を体感できるコーナーetc...

(参考) 3R推進全国大会の日程、会場

- 日 程 10/28 (金) ~10/30 (日)
- 会 場 みやこめっせ 1階



## 今後の啓発・環境教育で考慮すること (第3次計画から抜粋)

---

以下の観点を考慮しながら、排出事業者や処理業者と共同して進めていくことが効果的

- 産業廃棄物の処理の流れを見学することにより、多くの産業廃棄物がリサイクルにつながっていること
- 産業廃棄物処理施設だけでなく、一般廃棄物処理施設、排出事業者の処理施設についても、施設見学の対象とすること
- 「循環型社会」だけでなく、「低炭素社会」と「自然共生社会」という観点からも産業廃棄物を理解する内容とすること
- 今後のまちづくりを担う将来世代となる小中学生を主たる対象とすること



## 今後の在り方

---

- 施設見学会（バスツアー）
- フォーラム
- 他の手法

---

目的は？何をアピールするのか？より効果的な手法は？

- ・ 以前は「ダイオキシン問題」や「不法投棄」が社会問題化（マイナスイメージからプラスへ）
- ・ やはり「さんぱい」は分かりにくい存在（でも、生活の根っここのところでつながっている）
- ・ 「さんぱい」だけでは人が集まらない